



KUSURIBAKO CINEMA PREVIEW

映画『鏡の中の笑顔たち』

聞き手 > 畑岸真太郎(株式会社三和薬品 代表取締役社長)

映画の中で置き薬を使ってくれた、
主人公・遼の母親を演じた
松下由樹さんにも
お話を伺うことができました。



女優
松下由樹

畑岸…映画『鏡の中の笑顔たち』の見どころをお聞かせください。

松下…カリスマ美容師としてキャリアを積みながら、挫折をして田舎に帰って来た息子を、心配しつつ、信じて見守る母親を演じさせていただきました。自分に足りないものは何か、もがきながら成長していく姿がとても丁寧に描かれています。髪型を変えるだけで、喜びを感じたり、日常生活にも変化が齎されますが、姿形だけでなく心まで笑顔になるには、心の通い合ひも必要です。笑顔って片方だけじゃなく、一緒に笑顔になれてこそハッピー。世代を超えた人のつながりや温もり、

叱咤激励も含めて互いに感じ合っていることで、喜びや新たな自分の発見がある。そんなことを彼の成長過程とともに感じさせてくれる映画です。

畑岸…置き薬屋さんが登場するシーンで、なにか印象に残ったことはありますか？

松下…薬屋さんに会うと元気になるわね、というセリフにある通り、薬だけじゃない効果があると思います。元気ですか？最近どうですか？と声を掛けてもらえることや、たぶん他愛のない会話自体が楽しみになったり、定期的に会える安心感もあると思います。

畑岸…まさにこの仕事の真髄を付いていたとき、ありがとうございます。

便利過ぎるくらい世の中でも、最終的には人と人とのふれあいが根っこにある、という信念でやっています。置き薬というと薬だけのイメージかもしれませんが、お客様は健康とともに美容に關しても非常にニーズが高く、化粧品やサプリメントも扱っています。松下さんは健康や美容のために何かされていますか？

松下…撮影に入ると外食やお弁当が増えるので、自分で体調管理するために、なるべく温かいものを摂るように気を付けています。夏でも冷房で冷え過ぎると代謝が変わってしまうので、

温めを心がけています。

畑岸…遼くんが「この仕事は人を笑顔にしなから自分も笑顔になれる素晴らしい仕事」と語るシーンがあります。我々もお客様一人一人に元氣をお届けするのが使命だと考えています。そんな我々に一言メッセージをいただけますか？

松下…きっと自然と人に元氣を与えられるお仕事だと思います。でも疲れた時には、いい映画に触れたり、エンターテインメントの世界に浸ってみたり、日常からちょっと離れて上手にリフレッシュしてください。わたしたちもそういう方たちが元氣になれるように、良い作品を作って届けたいと思います。

畑岸…映画館で見るのを楽しみにしています。本日はありがとうございます。



映画の中に「置き薬」が登場！

松下さん演じる主人公の母親の家には薬箱が置かれていて、配置員が交換に訪れる場面が描かれています。不意にケガをして「こういうときに助かるのよね」というシーンも。

